



成年女子2回戦・徳島対沖縄 ベスト8
が懸かった第2ペア戦を4-0で勝利した徳島の絵内（手前）と久留＝石川スポーツグラウンドくろいそテニスコート

徳島 成年女子8強

ソフトテニス

石川スポーツグラウンドくろいそテニスコート

【成年女子】1回戦

2回戦

留内	田城崎	島3
4	4	単1
3	3	複2
西藤	上山小	0
		0
		埼

東原野根野 玉

上 藤箱 徳

田城崎	島2
4	単0
1	複1
4	0
金高嶺	1
	沖
城心橋	縄

京久絵

都2	留内
複1	4
1	0
1	高石
1	嶺
1	彩橋
1	島

小本石古梶

崎吉	井田尾
4	1
3	4
久絵	上藤箱

留内 田城崎

実力通り勝負強さ発揮

数々の学生大会で好結果を出している四国大の単独チームで臨んだ成年女子。準々決勝で優勝候補の京都に敗れたものの、実力通りの強さをを見せて入賞を確定させた。

1回戦の埼玉を3-0で下し、8強入りを懸けて戦ったのは実業団選手もいる難敵・沖縄。勝敗

の行方は1勝1敗から最後の絵内・久留ペアに委ねられた。チームをまとめる主将の絵内が相手ペアの間を抜く鮮やかなボレーで先取点。1年の久留が鋭く右に曲がるカットサーブで相手のリターンを乱し、絵内がサイドラインぎりぎりにストロークを決めるなど、巧みなコンビネーションでリードを奪った。最後は久留の強烈なストロークを相手が返しきれず、4-0のストレート勝ち。絵内主将は「受け身にならず、終始攻めの姿勢を貫いた」と振り返った。

全国から強豪選手が集まった創部7年目の今季は、全日本大学王座決定戦準優勝、全日本大学対校選手権3位などの実績を残している。今大会の目標は2018年の福井国体でチームが成し遂げた8位を上回ること。5-8位を決める10日の順位決定戦に向け、エースペアの箱崎と藤城は「みんなを信じて向かっていくだけ。最上位の5位を目指す」と話した。（富士佳輝・写真も）